

中国語講座 担当講師紹介 東京学堂

| | | | |
|---|---|--|--|
|  | <p>李振溪 (り・しんけい) LI ZHENXI</p> | <p>1985年中国南開大学日本語科卒業後、同大学で教鞭を取り、中国の大学生に日本語を教える。同時に、同大学の外国人留学生に中国語を教え始める。1993年文部省の奨学金で来日、立教大学教育専攻博士課程を経て、日本外国語専門学校、跡見学園女子大学、日本大学などの語学非常勤講師として、中国語、日本語の言語教育及び翻訳技能などを教えるかたわら、日中交流の会社代表として、文化交流及び企業のCIS企画や映像翻訳など多岐に渡り翻訳に携わっている。</p> | <p>中国の基礎文法を一通り習ったが、まだ上手く活用できない、もっと自由に言いたい話を口にしたい、少しでも中国人の普通の話聞き取りたい・・・と思う人は少なくないはずです。さあ、初心に戻って、もう少し高い目標に向けて、一緒に頑張りましょうか。中国の現在の事情を理解しながら、楽しく会話したり、問題を解いたりしましょう。語学を通し、面白い異文化の世界できっと新しい発見があるはずです。</p> |
|  | <p>曹泰和 (そう・たいわ) CAO TAIHE</p> | <p>長春市出身。吉林大学外国語学部日本語学科を卒業。1999年 現在のお茶の水女子大学大学院比較文化学科に入学し、2006年12月博士号取得。専攻は 現代中国語語法。お茶の水女子大学の専任講師を歴任、現在、慶應義塾大学、中央大学、上智大学等の大学で中国語を教えている。執筆編集に『日本語ライブラリー-中国語と日本語』（朝倉書店）、『はじめよう中国語』（NHK学園）、『李麗と話そうー中国語初級文法&会話』（郁文堂）『中日辞典』（講談社）『日中辞典』（講談社）等。</p> | <p>一方的に教えるような授業ではなく、受講生のみなさんにも積極的に参加してもらえるように授業を進め、そして日常会話の中国語が使えるようにしたいと思っています。</p> |
|  | <p>馮日珍 (ふう・えつちん) FENG YUEZHEN</p> | <p>東京都出身。広州、暨南大学中文系卒。東京学芸大学大学院教育学研究科修了。お茶の水女子大学外国語教育センター専任講師を経て、現在東京学芸大学、日本女子大学、獨協大学などで中国語を教える。執筆編集に『クラウン中日辞典』『超級クラウン中日辞典』（三省堂）、『中国語発音指導20課』（イースト・プレス）等。</p> | <p>教材は文章ですが、会話教材のときのように音声聞きながら先ずは音読をしましょう。はじめはゆっくりを進めます。週一回の授業が楽しみになりますように。</p> |

| | | | |
|--|---|---|--|
|  | <p>楊敏 (やん・びん) YANG MIN</p> | <p>中国上海出身。上海外国語大学日本語学部を卒業後、2002年9月に来日。早稲田大学大学院日本語教育研究科修士・博士課程を経て、2013年博士学位を取得。『クラウン日中辞典』(三省堂)の執筆および『超級クラウン中日辞典』(三省堂)音声出演に携わった。現職、早稲田大学日本語教育研究センター・インストラクター非常勤。</p> | <p>一人でできることは、好きな時間に、好きな場所で行っていただき、教室では、「今・ここ」しかできないことに集中していただきたいです。先生・クラスメイトとの協働を通して、確実に中国語の応用力を身につけていくことを目標にしております。</p> |
|  | <p>承春先 (しょう・しゅんせん) CHENG CHUNXIAN</p> | <p>上海生まれ、1988年来日、筑波大学大学院修了、芸術学修士。以降昭和女子大学、大東文化大学で中国文化史、書道、中国語を教える傍ら愛知万博での中国語同時通訳等の通訳や翻訳の仕事に関わっている。訳書に『経営就是改革』鈴木松夫著、『人為什麼會言行不一』齊藤 勇著、『汉字书法审美范畴考釋』河内利治著(いずれも上海社会科学院出版社出版)がある。</p> | <p>今まで培った中国語の基礎をもとに、苦手は克服し、中国文化にも触れながら幅広く深い中国語を学んでいきましょう。皆様が中国語を使いこなせるように精一杯努めて参ります。</p> |